

一学期終業式 校長講話

一学期の終業式の日、是非皆さんに紹介したい作文があります。今から、読みますので、考えながらしっかり聞きましょう。

コロナ差別を無くし、明るい世界につなげるには

豊中市立新田小学校6年

省 略

この作文は、「社会を明るくする運動」の作文コンクールで選ばれた6年生の作文です。

新田小学校は、一学期が始まってすぐに多くの先生たちが N501Y という新型コロナウイルスの変異株に感染したため、学校が約2週間臨時休校になってしまいました。その間、様々な誹謗中傷を受け、心が傷ついたという辛い体験を基に、住みよい社会のあり方について、人として、どうしていくことが大切なのかについてしっかり考えられています。

住みよい社会を創るのは、私たちです。皆さん一人一人が、考えて行動することの大切さを学ぶことができましたね。

コロナ禍が続き世界中の人たちが辛い思いをしています。新田小の学びの4本柱でみると、新型コロナウイルス感染症とはどのような病気か、「**知ること**」が大切です。そして、感染しないように、ソーシャルディスタンス、マスク、3密、換気、こまめな手洗い、消毒等「**なすこと**」。さらに、人と知恵を出し合って協力し合い、一日もはやいコロナの収束と日常生活を取り戻すために「**他者と共に生きること**」。4つ目は、まさに、作文に書かれていた、「今は、いつどこで感染してもおかしくない時です。こんな苦しい時だからこそ、感染してしまった人が困っていたら助ける、治ったら優しく迎えてあげる。僕たちを助けてくれる、医療従事者の方々には感謝をする。」ということ。つまり、「**人としての生き方を学ぶこと**」です。

現在、日本でもワクチン接種が進んでいます。一方で、N501Y という感染力の強い変異ウイルスから、さらに感染する力の強いデルタ株という変異ウイルスの感染者が出始めています。十分に気をつけてください。

さて、明日から、長い夏休みにはいります。この後、担任の先生からのびゆく子どもを頂きます。

学習面、生活面で、それぞれ、頑張っているようになったこと。もう少し頑張りたいところなどが記されています。

一学期を振り返って、自分はどうかを知ることとはとても大切です。そのうえで、二学期に向け、何を頑張るのか、どのように頑張るのか、考え、計画を立ててしっかり取り組んでいきましょう。

夏休は、35日間あります。規則正しい生活を心がけ、病気をしないよう、元気に過ごしてほしいです。

2学期は、8月25日（水）からです。全員が元気に登校できることを願っています。